

第1回 …シラバス(01/24)

学習目標

1. 体部名を確実に記憶する — **上肢・下肢**の体部の名は日常用語と異なるので注意
2. 部位名を確実に記憶する — **上肢帯・下肢帯**がやや難解なので注意
3. **方向・基準面(断面)・向き**の関係を理解する
4. 解剖学で用いる向き(位置関係)の用法を記憶する — **内・外**と**内側・外側**の相違は特に注意が必要(英語を覚えると誤用が防げる)

●課題 1 人体体部

1. 全身を前からみた図を描き、体部に分割して、その体部名を記入する。
2. 英語を併記する。

第2回 …シラバス(02/24)

学習目標

1. **全身骨格**を**(部分)骨格**に分割し、骨格名を記憶する — 骨格としての**上肢帯・下肢帯**に注意
2. **体部と骨格と体腔**の対応関係を理解する
3. **関節(狭義の)の基本構造**を記憶する

●課題 2 全身骨格の予習

1. **全身骨格図**(レポート資料)をプリントまたは模写して、できるだけ多くの**骨名**を記入する。
2. 解剖図譜や教科書を参照して、英名も併記する。

第3回 …シラバス(03/24)

学習目標

1. 筋学の基本用語を記憶する — **起始・停止**とは何か
2. 身体運動の名称を記憶する — 運動と**基準方向(軸)**との関係を理解する
3. 全身の筋群を記憶する — **体部と筋群**との関係を理解する

●課題 3 [レポート資料](#)などを参考にして、以下に示す体部の運動を定義しなさい。自分の体で実際に確認できた運動については、番号に○印を付けなさい。

1. 屈曲 flexion
2. 伸展 extension
3. 外転 abduction
4. 内転 adduction
5. 外旋 lateral rotation
6. 内旋 medial rotation
7. 回外 supination
8. 回内 pronation
9. 背屈 dorsiflexion
10. 底屈 plantarflexion
11. 外反 eversion
12. 内反 inversion
13. 対立 opposition

※運動の名称は、関節や筋を学ぶときの出発点なのでしっかりと記憶し、また自分の体を動かせるように。試験で運動を出題すると、正答できない学生が多い。

第4回 …シラバス(04/24)、シラバス(03/24)の最後

学習目標

1. 神経系の構成を記憶する — CNS + PNS
2. 中枢神経の構成を記憶する — **脳と脊髄**
3. 末梢神経の構成を記憶する — **脳神経と脊髄神経**
4. 神経とは — **神経線維**の集合

●課題 4 シラバスと「からだの構造と機能」の第 10 章と第 11 章([レポート資料](#)、約 30 ページ、印刷不要)を読んで、神経系に関する各問に簡潔に答え、英語も併記しなさい。**上記の資料の中に各問に関連する図があれば、その番号も書きなさい。**

※各章末の復習問題が参考になる。※以下の問題文と解答は手書きで。

1. 中枢神経系の構成要素を2つ挙げなさい。
2. 末梢神経系の構成要素を2つ挙げなさい。
3. 神経組織の構成要素を2つ挙げなさい。

4. 脳の構成要素を6つ挙げなさい。
5. 脳幹に含まれる脳の構成要素を3つ挙げなさい。
6. 脊髄を上から5つの区画に分け、名称を列挙しなさい。
7. 髄膜を3つ挙げなさい。
8. 脳神経を12対、列挙しなさい。
9. 脊髄神経を31対、列挙しなさい。
10. 自律神経系の構成要素を2つ挙げなさい。

※各問は、医学生の方識。解剖実習終了時(来年6月末)には、ほぼ全員が正解できる。早めに記憶しておく、解剖実習書や医学関連書が読みやすくなる。

第5回 …シラバス(05/24)

学習目標

1. **頭蓋**の外観で特徴的な形態の名前を記憶する
2. 頭蓋の**連結**を理解する
3. **頭蓋冠**の形態を理解する
4. **頭蓋底**の詳細な形態を**内・外**から観察する

●課題5

1. **頭蓋の前面観**の略図(レポート資料)をプリントまたは模写して、**骨名**や**突起**、**穴**、**凹凸**などの名前を記入する。
2. 図譜(Netter 図4)や教科書・参考書・シラバスを参照する。

第6回 …シラバス(06/24)

学習目標

1. **脳頭蓋**に分類される**頭蓋骨**を記憶する
2. **顔面頭蓋**に分類される**頭蓋骨**を記憶する

●課題6

1. 頭蓋の**側面観**の略図(レポート資料)をプリントまたは模写し、**骨名**や**突起**、**穴**、**凹凸**などの名前を記入する。シラバス(08/24)の2ページ目(空白)に描くとよい。

2. 図譜 (Netter 図 6) や教科書・参考書・シラバスを参照すること。

第 7 回 …シラバス(07/24)

学習目標

1. **脊柱**の構成を記憶する — 成人で 26、子供で約 33
2. **椎骨の基本構造**を記憶する — それ以外が**特殊構造**
3. **椎骨の連結**を理解する

●課題 7

1. **脊柱**の略図(レポート資料)をプリントまたは模写して、**椎骨**の名前を記入する。シラバス (14/24) の 2 ページ目(空白)に描くとよい。
2. 図譜 (Netter 図 153) や教科書・参考書・シラバスを参照する。

第 8 回 …シラバス(08/24)

学習目標

1. **頭蓋**の全体の観察
2. **頭蓋**の形態(**孔、凹凸**)の観察
3. **頭蓋骨**の同定

●課題 8

1. **内頭蓋底**の略図(レポート資料)をプリントまたは模写し、**突起、穴、凹凸**などの名前を記入する。シラバス (10/24) の 2 ページ目(空白)に描くとよい。
2. 図譜 (Netter 図 11,13) や教科書・参考書・シラバスを参照する。

第 9 回 …シラバス(09/24)

学習目標

1. **胸郭**の構成と連結を記憶する
2. **上肢骨格**の構成と連結を記憶する

3. **上肢**(体部)と**上肢骨格**の関係を理解する

●課題 9

1. **上肢骨格**の略図(レポート資料)をプリントまたは模写し、**主な骨と関節**の名称を書き入れる。シラバス(18/24)の2 ページ目(空白)に描くとよい。
2. 図譜(Netter 図 404～)や教科書・参考書・シラバスを参照する。

第 10 回 骨学チェックリスト(頭蓋)

1. 頭蓋を観察し、確認できた項目に☑を付して提出する。
2. **スケッチを開始する前に**、チェックリストを完成させることが望ましい。

第 11 回 …シラバス(11/24)

学習目標

1. **下肢骨格**の構成と連結を記憶する
2. **下肢**(体部)と**下肢骨格**の関係を理解する
3. **骨盤**の構成と連結を記憶する

●課題 11

1. **下肢骨格**の略図(レポート資料)をプリントまたは模写し、**主な骨と関節**の名称を書き入れる。シラバス(20/24)の2 ページ目(空白)に描くとよい。
2. 図譜(Netter 図 473～)や教科書・参考書・シラバスを参照すること。

第 12 回 …シラバス(12/24)

学習目標

1. **頸椎**の特殊構造を観察する
2. **胸椎**の特殊構造を観察する
3. **腰椎**の特殊構造を観察する
4. **仙骨**の特殊構造を観察する

●課題 12

1. **第6 胸椎**の上面観(レポート資料)をプリントまたは模写し、部位の名称を書き込む。シラバス(12/24)の2 ページ目(空白)に記入するとよい。
2. 図譜(Netter 図 154)や教科書・参考書・シラバスを参照する。
3. Netter 図 154 の第6 胸椎・左側面図は椎弓根の位置が間違っている。第7 回の配付資料をもとに修正しておく。

第13回 …シラバス(13/24)

学習目標

1. 頭は2筋群からなる — **顔面筋**(表情筋)と**咀嚼筋**
2. 頸は4筋群からなる — **胸鎖乳突筋**は二頭筋であり、側頸筋群に属する
3. 前頸筋の別名は舌骨筋である — **舌骨上筋**と**舌骨下筋**からなり、嚥下に作用する

●課題 13

1. **顔面筋**(表情筋)の略図(レポート資料)をプリントまたは模写し、主要な筋名を書き込む。
2. 図譜(Netter 図 25)や教科書・参考書・シラバスを参照する。

第14回 骨学チェックリスト(脊柱と胸郭)

1. 脊柱と胸郭を観察し、確認できた項目に☑を付して提出する。
2. **スケッチを行う前に**、チェックリストを完成させることが望ましい。

第15回 …シラバス(15/24)

学習目標

1. 胸筋群は3筋群からなる — **浅胸筋**と**深胸筋**(肋間筋)と**横隔膜**
2. 腹筋群は3筋群からなる — **前腹筋**と**側腹筋**と**後腹筋**
3. 会陰筋群は骨盤固有の筋群であり2筋群からなる — **尿生殖隔膜**と**骨盤隔膜**

●課題 15

1. 体幹の前方にある筋の略図(レポート資料)をプリントまたは模写し、筋名を書き込む。
2. 図譜(Netter 図 245, 246)や教科書・参考書・シラバスを参照すること。

第 16 回 …シラバス(16/24)

学習目標

1. 主要な**浅背筋**を記憶する — **僧帽筋**と**広背筋**
2. 主要な**固有背筋**を記憶する — **脊柱起立筋**

●課題 16

1. 背筋の略図(レポート資料)をプリントまたは模写し、筋名を書き込む。
2. 図譜(Netter 図 171, 172)や教科書・参考書・シラバスを参照する。

第 17 回 …シラバス(17/24)

学習目標

1. 上肢の筋を筋群に分類する — **上肢帯筋**、**上腕屈筋**、**上腕伸筋**など8筋群
2. 各筋群の主要な筋名を記憶する — **三角筋**、**上腕二頭筋**、**上腕三頭筋**など
3. 主要な筋の作用を記憶する — どの関節に作用するか

●課題 17

1. 上肢・下肢の筋の前面図(レポート資料)をプリントまたは模写し、筋名を書き込む。
2. 図譜(Netter 図 404～, 473～)や教科書・参考書・シラバスを参照すること。

第 18 回 …シラバス(18/24)

学習目標

1. **肩甲骨**を観察する — 肩峰・肩甲棘・烏口突起・関節窩
2. **上腕骨**を観察する — 上腕骨頭・大結節・小結節・上腕骨滑車・上腕骨小頭
3. **寛骨**を観察する — 腸骨稜・上前腸骨棘・寛骨臼・恥骨結節・坐骨結節・大坐骨切痕
4. **大腿骨**を観察する — 大腿骨頭・大腿骨頸・大転子・小転子・粗線・外側顆・内側顆

●課題 18

1. **寛骨**の外側面図(レポート資料)をプリントまたは模写し、部位の名称を書き込む。シラバス(16,17/24)の2 ページ目(空白)に記入するとよい。
2. 図譜(Netter 図 473)や教科書・参考書・シラバスを参照する。

第 19 回 …シラバス(19/24)

学習目標

1. 下肢の筋を筋群に分類する — **外寛骨筋、大腿伸筋、下腿屈筋**など12筋群
2. 各筋群の主要な筋名を記憶する — **大殿筋、大腿四頭筋、下腿三頭筋**など
3. 主要な筋の作用を記憶する — どの**関節**に作用するか

●課題 19

1. 上肢・下肢の筋の後面図(レポート資料)をプリントまたは模写し、筋名を書き込む。
2. 図譜(Netter 図 409～, 479～)や教科書・参考書・シラバスを参照すること。

第 20 回 骨学チェックリスト(四肢骨と骨盤)

1. 四肢骨と骨盤を観察し、確認できた項目に☑を付して提出する。
2. **スケッチを行う前に**、チェックリストを完成させることが望ましい。

第 21 回 …シラバス(21/24)

学習目標

1. **頭部の運動**を概観する — 咀嚼・視覚・聴覚・嗅覚・表情
2. **頸部の運動**を概観する — 嚥下・発声・体位
3. **体幹の運動**を概観する — 呼吸・腹圧・排泄・生殖・体位

●課題 21

1. 図(レポート資料)にある主な関節を矢印で示し、関節名と可能な運動を答える。
2. 図譜(Netter 図 183,184)や教科書・参考書・シラバスの表を参考にする。

第 22 回 …シラバス(22/24)

学習目標

1. 上肢の関節運動を概観する ― 肩関節・肘関節・橈骨手根関節
2. 下肢の関節運動を概観する ― 股関節・膝関節・距腿関節

●課題 22

1. 上肢の全ての関節を図中(レポート資料)に矢印で示し、関節名と可能な運動を答える。
2. 下肢の全ての関節を図中(レポート資料)に矢印で示し、関節名と可能な運動を答える。
3. 図譜(Netter 図 404～, 473～)や教科書・参考書・シラバスの表を参考にする。

第 23 回・第 24 回 全身の関節のチェックリスト(最終)

I. シラバスの表(21/24, 22/24)を参照して、体部ごとに全関節をシラバスの 23,24/24 の2ページ目(白紙)にリストアップする。

II. リストアップした各関節について、図譜や全身交連骨格などを参考にしながら、**骨箱内の骨**を用いて実際に組み上げ(構成)を試み、その結果を提出する。結果に含める内容は以下の通り。例に示したように記入すること。

- 組み上げに成功した関節には、○印をつける
- 最初から組み上げられていた関節には、◎印をつける
- 何かの理由で、組み上げに失敗した関節には、×印をつける
- 観察した関節では、左右を記入する
- 椎間関節では、どの椎骨を用いたかを記入する
- 同名の関節(中手、指)では、何番目の関節かを記入する
- 関節面の形態的分類を記入する(球関節、蝶番関節など)

例 1: ○ 肩関節(右、球関節)

例 2: × 輪状甲状関節(軟骨間の関節なので骨箱にない)

例 3: ◎ 第一手根中手関節(左、鞍関節)

例 4: ○ 椎間関節(左右、第三胸椎と第四胸椎、平面関節)

以上